

## 河川水辺の国勢調査改善検討委員会（第3回）における 河川版見直し方針(案)のまとめ

- ・ 第3回河川水辺の国勢調査改善検討委員会における河川水辺の国勢調査【河川版】についての見直し方針（案）を以下に示す。
- ・ 対応時期における「短期」と区分したものは、見直しの実施を現時点で確定させ、技術的・事務的対応を必要に応じて講じた上で、適用可能なものから実施に移していくことが適切と考えるものである。
- ・ 対応時期における「中期」と区分したものは、今後の河川水辺の国勢調査改善検討委員会における検討をさらに継続して対応を定めることが適切と考えられるものである。

**表 見直し方針(案)【河川版】**

項目	対象分類群	見直し方針（案）	対応時期
文献調査	構造物調査(河川環境基図調査)以外の全分類群	・ 文献調査を廃止し、アドバイザー等専門家からの聞き取り調査で代替する。	短期
		・ 既往の文献調査結果(調査地点と確認種の情報)を簡単に参照できるデータベースを構築する。	中期
構造物調査	河川環境基図	・ 構造物調査は既存調査等により代替する。	短期
調査地区	鳥類	・ 鳥類のスポットセンサス法による調査地点の削減について検討する。	中期
調査方法・同定作業	底生動物	・ 底生動物調査の定性調査はサンプルの統合等について検討する。	中期
		・ 底生動物調査の同定のタクサの見直しについては、調査会社、専門家にアンケート・ヒアリング等を実施し意見を踏まえた上で検討する。	中期
	哺乳類	・ 墜落缶を用いたトラップ法については、他の河川での状況等を確認の上、削減する方向で検討する。	中期
	陸上昆虫類等	・ 陸上昆虫類等調査のピットフォールトラップ法については、専門家等の意見を踏まえた上で検討する。	中期
・ 陸上昆虫類等調査の同定のタクサの見直しについては、調査会社、専門家にアンケート・ヒアリング等を実施し意見を踏まえた上で検討する。		中期	
市民・NPO等との連携	全分類群共通	・ 専門家や関係団体等の意見を踏まえ、NPO側にとっての調査参画メリットの確保にも留意しながら、従来の調査精度を確保した上で市民、NPO等とのどのように連携ができるかについて、検討する。	中期